

HOPE!

祇園中3年
学年通信
平成25年
6月18日号

防犯教室

先週金曜日に、サイバー犯罪対策のスペシャリストのかた（広島県警本部）に、『インターネット犯罪被害防止』についてお話をいただきました。今や身近となった、携帯電話やパソコン 컴퓨터、スマートフォン、携帯ゲーム機。少し前までは『あると便利なもの』だったものが、『あることが当たりまえ』『無いと不安』『ともすれば危険なもの』となってしまいました。大変暑い中での講演となりましたが、さすが三年生です。真剣に聞くことができました。



【従来型犯罪とサイバー犯罪の違い】

- 即時性がある・・・瞬時に全世界へ広がる。
- 広域性がある・・・国境、地理的制限が無く
不特定多数に広がり、危険な場所と隣り合わせ。
- 匿名性が高い・・・顔も姿も偽ることができる。
- 証拠が残りにくい

<サイバー犯罪>

コンピュータネットワーク上で行われる犯罪の総称

【インターネットの問題点】

- 違法、有害情報があふれている。（アダルト・ヤミ・薬物等のサイト）
- 犯罪者が常にねらっている。（フィッシング詐欺など）
- 個人情報の漏えいや名誉毀損が横行。

【未成年が関わりやすいサイバー犯罪】

- 不正アクセス
 - ・ゲームアイテムの不正奪取
 - ・他人のID、パスワードを無断で使用してネットワークにログイン



●掲示板上への書き込み

- ・名譽毀損（悪口、嘘などを書き込む。その人の評価が著しく損なわれるようなことを書き込むなど）

●犯行予告

- ・2ちゃんねる等に書き込む（犯罪と判断されれば身元はすぐ特定される）

●出会い系サイトを利用することによる被害

●架空請求や不当請求の被害

●著作権侵害

- ・ファイル共有ソフトで流通するコンテンツの

90%が著作権違反。そのうち70%がウイルスに感染。



知らないうちに、加害者にも被害者にもなり得ることを認識しましょう。

- ・IDやパスワードなどの管理には気をつける。
- ・知らない相手からのメールは無視する。
- ・知らないサイトの退会等のメール要請には応じない。
- ・占いやアンケートには要注意。
- ・ネットワーク上で知り合った人とは、絶対に会ってはいけない。
- ・最近は『出会い系』で男子も被害に遭っている。
- ・出会い系、援助交際のサイトは暴力団とつながっていることが多い。

また、ネットワーク上でのコミュニケーションは、感情がエスカレートすることが多く、人を傷つけたり、信用を無くしたりします。現にこの祇園中学校でも、このようなトラブルに巻き込まれたりしています。

何のために携帯電話やスマートフォン、パソコン等を使っているのかをよく考えてみましょう。

※裏面に感想文を載せています

職場体験事前訪問

6月19日（水） 5・6時間目

職場体験を実施するにあたり、事前に事業所の方と打ち合わせを行います。
打ち合わせ時間は事業所ごとに異なります。

事業所を訪問した後、そのまま帰宅します。

部活はありません。



防犯教室を終えての感想

私は普段インターネットを使うことがありません。でも、今後使うことが増えていくと思います。自分が引っかかるないと思っていても、気づかぬうちに加害者、被害者になっているかもしれないインターネットやLINEなど気をつけて使いたいです。

私にもよく迷惑メールが来ます。母に無視しなさと言われていて、今日の話を聞いて、母の話は合っていたんだなあーと思いました。自分の行動には責任を持って、親や周りの人に迷惑をかけないようにしたいなと思います。

今日、家に帰って家族とこの話をしたいです。

インターネットやスマートフォン、携帯などはいずれみんな手にするものだと思います。身近だから危険なことはあまり考えず使ってしまいかがちですが、こうやって学校で習うことで、意識付ができる良かったです。私はまだ携帯電話を持っていないので心配ないと思っていましたが、勉強して改めて、情報は必要だけれども、間違った使い方をするととても怖いものだと解りました。自分には起こらない、巻き込まれないという考えは捨てて、自分で判断する能力を高めていきたいと思いました。

知らない間に犯罪に巻き込まれていたり、加害者になっていたりするということが解って怖かったです。インターネットですごく便利な世の中になったけど、全てを信じるのではなく、半分疑う心も持っていないといけないと思いました。情報を上手に活用していくようになりたいです。

普段からパソコンや携帯でネットなどを使っているから、ちゃんとした知識がないととんでもないことに巻き込まれてしまうんだなと思った。軽い気持ちで怪しいサイトに近づいてしまうと取り返しのつかないことが起きてしまう事が解った。私も実際SNSを利用して、自分の中では一応気をつけているつもりでも、なりすましながらだまされたり、怖い目にあってしまうことがあるのを知りとても怖くなかった。ネットの情報はすぐ回ってしまうことは、SNSを使っている時に実感するけど、今回の話を聞いて本当に危ないものなんだと思った。～後略～

～前略～

出会い系サイトなどの犯罪では、架空請求ぐらいだと思っていたけど、実際に殺害された人がいると聞いて恐ろしいなと思いました。自分からそのようなサイトを利用することは絶対にしないけど、VTR のように友達に勧められたりしたら、その友達を止めようと思いました。自分がもしサイバー犯罪に関わったり巻き込まれたら、周りの人に迷惑がかかることが解りました。それは絶対に嫌だなと思いました。～後略～

～前略～

特に話の中で印象に残ったことは、出会い系サイトです。出会い系サイトを絶対に開いてはいけないと母から何回も言っていたので、良くないものとは知っていたけど、そんなサイトで人が殺されたりすると聞いて驚きました。少しの興味がとても危険なことにつながることを知りました。～後略～

僕は携帯を持っていないし、インターネットも使わないので関係ないと思っていたけど、将来絶対使うものなので色々難しいなと思いました。

インターネットは情報源であり、必要不可欠なものなのに、そこにデマを流したり、個人情報を流出させたり、お金をだまし取ったりする人の気が知れません。そうなるとどの情報を信じて良いか判らず、どれも信じられなくなります。そんな信じられない社会にはなってほしくないと思いました。でも、そんな社会に近づいているということを悲しく思いました。ウソの情報なんか流れないで信頼できるインターネットになってほしいと思いました。

今日を機に、将来ネットを使う時は悪質な詐欺にだまされないようにしようとしました。将来の自分のためになりました。

たった一度のクリックで人生が変わるような大変なことになることが解りました。

出会い系サイトも「興味」だけでメル友になって、最悪殺されてしまう。そんな大きな事になることもあるなんて本当に恐ろしく、怖いなと思いました。

私も、YouTube とかは普段からよく使います。しかし、そういうものも著作権に関わることがあるなんて知りませんでした。～後略～